

命の重み 市政に生かす

3期12年、子育て世代の議員として、みなさんの支えをいただいて市民の切実な願いを市政へとがんばってきました。

くらしと命をまもる、内需中心の地域循環型の経済で景気を回復する、税金のムダづかいをやめる——市民が中心の政治こそが京都市に求められています。一緒に実現させようではありませんか。

安倍政権の戦争する国づくり、原発再稼働などの暴走政治！これにきっぱりと対決し、市民本位の京都市政に変えるため、みなさんのお力添えを心からお願ひします。

市会

日本共産党
市会議員

加藤 あい

profile: 市会議員(3期)。現在、市会運営委員会理事、市会改革推進委員会副委員長、教育福祉委員。1975年12月9日京都で生まれ育つ(38歳)。佛教大学社会学部卒。民青同盟京都府委員会副委員長、朱い実保育園保護者会副会長、新日本婦人の会左京支部委員など歴任。家族は夫と娘、息子。

二度と戦争への道を許さない! 子どもの未来に原発いらないの声よ届け!

ママたちと力を合わせて学校給食の放射線検査を実現。

「人類と原発は共存できない」——福井地裁が大飯原発の「再稼働差し止め」の判決。ところが、政府は大飯・高浜をはじめ原発再稼働をもくろむ。即時原発ゼロを実現させ、安心・安全なエネルギーへの転換を!

共産党議員団は、集団的自衛権の行使を認める閣議決定は認められないとの意見書を求める請願採択に奮闘!

安倍政権にレッドカードを突きつけ、「戦争する国づくり」を許しません。

いのちとくらしを守る京都市政に



食品の放射線検査の視察



「いのちを守る」署名活動を行う加藤あい



東日本大震災の被災地を視察



脱原発デモに参加

安倍政権に
レッドカードを

左京区のみなさんの声が届き、ともに住みよい街づくりへ

住民の命と安全を守ることが最も重要

8月27日には、この間の台風18号や豪雨の浸水被害にあわれた方の実情をふまえ最善の支援策を行うこと、今後も予想される災害への対策などを、市長・区長に申し入れ。



耐震工事が必要な松ヶ崎橋、河合橋など多数ある中で、「反対の声がある北泉橋を8億円かけて架橋する前に耐震化を」と住民とともに行政に要望。住民合意なき架橋中止を引き続き求めます。



骨折事故も起きた夢倉橋・清水町バス停のバリアフリー化が実現し、住民から歓迎の声! 一層のバス停の改善と、御蔭橋バス停の改善実現を求めています。



高野大型パチンコ店建設反対の運動を応援しています。(住宅地にパチンコ店はいらない住民集会に参加)

日本共産党は「議員も身を削るべき…」の市民の声に応えます

市会議員の報酬3割削減——共産党の提案に 自民・民主・公明・京都党がこぞって反対

京都市会議員の報酬は政令市で3番目の額になっています。2014年2月、議員も身を削り、市民のくらし応援に貢献するために共産党市議員団は議員報酬を3割削減する条例を提案しました。

財源効果は3億2400万円、2名定数削減の5380万円よりはるかに多くの財

源を生み出すことができます。党議員団はこれを市民のくらし応援の予算にあてることを求めています。

自民、民主・都みらい、公明、京都党は市民とのパイプを細める議員定数削減を強行し、党議員団の議員報酬削減の条例に反対しました。

暴走政治
ストップ!

原発ゼロへ! 再稼働ストップ